



人は、人を浴びて人になる

沼津市校長会長 中川 恵（沼津市立原小学校）

美容院の受付で名前を書いたときに、見えるはずのない先約の名前が見えてしまいました。そこに書かれていたのは、懐かしい高校時代の友人の名前、筆跡も当時のままでした。店内を見回すと、40年ぶりの友人がいました。カラーリングをしてもらいながら、うとうとしている友人を見、40年前のことを思い出しました。

彼女とは、「一緒に先生になろう」と教育学部への進学を目指し、切磋琢磨しながらともに頑張ってきた間柄でした。しかし、その晩秋、彼女のお母さんは、乳癌で亡くなりました。学校を休みがちになった彼女を何とか励まそうと、もう一人の友人と、日本平動物園に連れ出しました。とても寒い日でした。閑散とした動物園を3人ではしゃぎ回った後、帰り際、彼女が言いました。「今日は本当にありがとう。久しぶりに笑ったよ。私は大学進学をあきらめて、看護学校に行くことにした。」

最愛のお母さんを亡くすという想像を絶する痛みの中で、心境の変化があったと思いますが、力強い晴れやかな言葉に、私たちは、ただただ尊敬をもって、18歳の決断を受け止めました。その後、受験勉強が忙しくなり、進路も別々のものとなり、彼女と会うこともなくなりましたが、風のうわさで、保健師になったことを聞きました。



子供の頃から、おせっかいだった私は、子供時代に、友達が背負っているものの大きさが垣間見えるたびに苦しく、「私に何ができるか」そんな思いにいつも駆られていました。母の日に白いカーネーションを持っていたHくん、毎日お父さんのお弁当を作っていたTちゃん、外国籍であることを隠していたSちゃん、水泳の時間にいつも逃げ回っていたIくん…。そういう子供たちのために教員になったことを思い出しましたが、それと同時に脳裏にあるのは、それでも、みんながいつも前を向いて、たくましく、笑っていたこと、底抜けに明るかったことです。

「人は、人の力で回復する。人は、人を浴びて人になる。」（児童精神科医・医学博士 夏苺郁子）

40年も別々の人生を歩んできた私たちですが、彼女には彼女なりの素敵な出会いがあり、その出会いに導かれて、幸せな日々を紡いできたことでしょう。その日の美容室、熱い視線を送り続けましたが、動線も変わらず、結局声をかけるチャンスはありませんでした。先に帰る鏡越しの彼女に、「元気でよかった。私ももう少しがんばってみるよ。」と心でつぶやきました。

面接相談&電話相談

◎ 非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。



1 面接相談

◎ 相談受付時間…午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）Tel951-3440

(1) 新規面接相談件数 7～9月 18 件 年間合計 42 件

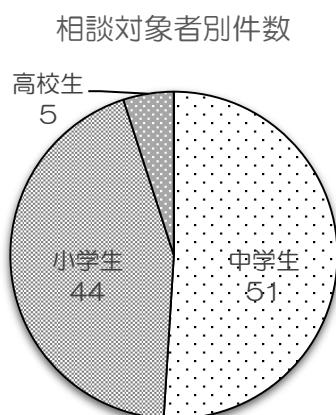
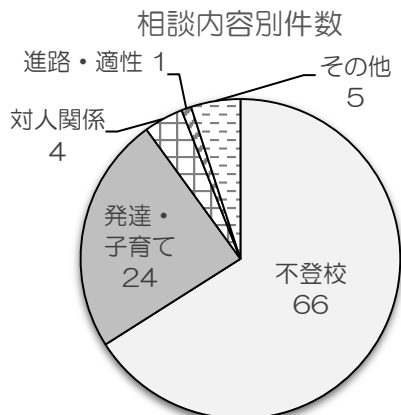
<相談内容別件数>

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
7月	0	2	4	0	0	0	6
8月	0	2	2	1	0	0	5
9月	0	5	2	0	0	0	7
合計	0	9	8	1	0	0	18
年間	0	24	12	1	1	4	42

<相談対象者別件数>

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	成人	合計
7月	0	3	3	0	0	0	6
8月	0	1	4	0	0	0	5
9月	0	3	3	1	0	0	7
合計	0	7	10	1	0	0	18
年間	0	20	20	2	0	0	42

(2) 4～9月までの面接相談件数 100 件



(3) 4～9月までの面接相談回数 887 回 ※相談員が面接を実施した回数

2 電話相談（愛称：やまびこ電話 951-7330）

◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）

<相談内容別件数>



	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言	合計
7月	0	1	0	9	1	10	0	17	16	54
8月	0	0	2	10	0	7	0	21	35	75
9月	0	1	1	8	1	8	0	12	36	67
合計	0	2	3	27	2	25	0	50	87	196
年間	0	3	7	35	2	50	1	84	148	330

<相談対象者別件数>

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専攻生	一般成人	不明	合計
7月	0	5	1	2	0	0	20	26	54
8月	0	4	0	4	0	0	20	47	75
9月	0	3	0	3	2	0	13	46	67
合計	0	12	1	9	2	0	53	119	196
年間	0	18	1	12	3	0	96	200	330

情報コーナー

育ちを保障する

青少年教育センター 臨床心理士 石川 令子

この夏、パリ在住の子ども家庭福祉研究者である安發（あわ）明子さんのご尽力により、私は、思春期クライシス専門病院や心理医療センター、児童相談所、若者相談所など関係機関の専門家たちと「10代の自殺予防の取組と未遂者の回復サポート」をテーマに意見交換する機会を得ました。

フランスでは生まれたときから一人の市民を育てるという意識が強く、小さな子どもでも親の付き添いなく専門家に無料相談できる場所がたくさんあります。日本では本人に「心療内科にかかりたい」という明確な意思があっても、高校生でも初回は保護者同伴でないと受診できない、というのが現状です。なるべく早く適切な専門医療機関に連れて行って頂くために保護者の理解を得る段階で、おそらくどの学校でもスクールカウンセラーやソーシャルワーカーも共に苦慮している事例が少なからずあると思います。

確かに、受診への抵抗に寄り添いつつ保護者の理解を得ていくプロセスには、さらなる子ども理解や親子の関係性の再構築という発展的な要素があるのは事実です。しかし、そこがもっとスムーズにいけば、より早いケアに繋がります。学校側も、他の予防的な取組などに時間をあてるのが可能になるはずなのです。

その点、フランスの学校は、懸案の事例は早急に「子ども専門裁判官」に報告・相談し、その先の支援の判断を仰ぎます。その上で、保護者や関係機関と密に連携していきます。多職種が互いの専門性を知り尊敬しているからこそ、対等に支援について意見を戦わせるという考えなのです。

「何かあったときに責任を問われないためにも、早く子ども専門裁判官に繋ぐ」という気持ちも実際にあるとのことですが、それはそれで結果的に当の子どもが適切な支援に早く繋がるのであれば良いのかも知れない、と私は感じました。子育ての大変な保護者たちが選べるサークル活動やエステ、マッサージ等のケアを受けながら相談できる選択肢がたくさんあることも驚きでした。虐待という言葉も使われなくなったそうです。

どんな境遇に生まれても国が育ちを保障する子育て事情の情報が、安發さんの著書『一人ひとりに届ける福祉が支える フランスの子どもの育ちと家族』（かもがわ出版）にギュッと詰まっています。子どもに関わる全ての大人の方に読んで頂きたい本です。





【体験活動「はばたき」】

(通称：はばたき活動)

- 7/5(水) 佐野美術館へ行こう(3人)
- 9/7(木) アイロンビーズに挑戦(5人)
- 9/20(水) 源兵衛川へ行こう(4人)

はばたき活動は、1対1の面接相談とは違い、相談指導学級通所生や担当以外の職員とも関わる小集団活動です。今年度も、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら、できる範囲で実施しています。

「佐野美術館へ行こう」では、絵本作家である長谷川義史さんの作品展をみんなで鑑賞しました。子供たちは展示に見入っており、お土産にポストカードなどをかう子もいました。



【9/20源兵衛川】

「源兵衛川へ行こう」では、三島梅花藻の池からスタートし、源兵衛川沿いを歩き、自然を感じました。川に入って水の冷たさを感じる子、網を使って水中の魚などを捕まえようとする子など、思い思いに楽しく過ごすことができました。

【相談指導学級】

(通称：はばたき教室)

はばたき教室に通う子供たちは、学習の遅れを取り戻そうとしたり、同年代の子との関わりを求めたり、自分の居場所を作ろうとしたりするために来ているように思えます。

センターでは、はばたき教室が束の間でも、ほっとできる居場所となり、今まで以上に他者の前で自己開示ができ、来た時より少しでもエネルギーを貯めて自宅に帰れるよう支援を行っています。毎日ある「ふれあい」の時間はそんなことを意識し、室内レク、スポーツ、創作活動、ウォーキングなどを実施しています。この時間を楽しみにしてくれている子も多く、今年から始めたモルックは好評で、スキットルの倒れた結果に一喜一憂し様々な表情を見せてくれています。また創作活動では、季節感のある掲示物や可愛い小物を創っていますが、明るく楽しい作品は教室を華やかなものにし、和やかな雰囲気づくりに一役買っています。

そんな「ふれあい」の活動中に交わされる日常の他愛もない話や趣味・推しの話は、子供たちにとってコミュニケーションを図る潤滑油となり、互いの距離はそれまで以上に縮まり、より確かなものになっていくように見えます。

2学期は8月25日(金)に開級しました。例年、9月、10月は新規が増える時期ですが、1学期と同様、子供たちの心の安定を図ることを目標に、適切な声掛けと支援に努めているところです。

青少年教育センターの活動予定 (11・12・1月の主な活動)

はばたき活動		補導関係	
11月8日(水)	沼津御用邸見学	11月10日(金)	補導委員会代表者会
11月21日(火)	香陵アリーナ利用	11月18日(土)	落書きクリーン作戦(暁秀高)
12月7日(木)	創作(クリスマス飾り)	12月1日(金)	県内一斉冬季少年補導 ・社会環境実態調査
12月20日(水)	クリスマス会	1月26日(金)	補導委員会代表者情報交換会
1月12日(金)	スマートフェンシング体験	11月22日(水)	そよかぜ
1月24日(水)	新春お楽しみ会		
中央街頭補導			
11月	1(水) 7(火) 8(水) 15(水) 17(金) 21(火) 24(金) 28(火) 29(水)		
12月	6(水) 8(金) 12(火) 13(水) 15(金) 19(火) 22(金)		
1月	10(水) 12(金) 16(火) 17(水) 19(金) 24(水) 30(火)		



*天候や新型コロナウイルス感染状況等により、中止や延期等の変更をすることがあります。

補導の状況

1 7月～9月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

学 職 別 区 分		性 別	小学生	中学生	高校生	その 学生他	有職少年	無職少年	計	年間累計
行 為 種 別	飲 酒	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	喫 煙	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬 物 乱 用	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	夜 間 は い か い	男	0	0	0	0	0	0	0	8
		女	0	0	0	0	0	0	0	6
	不 良 交 友	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゲームセンター入場	男	1	19	36	0	0	0	56	101
		女	2	7	20	0	0	0	29	47
	パチンコ店入場	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	カラオケ店入場	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
自転車の暴走行為	男	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	
自転車の二人乗り	男	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
自転車の無灯火	男	0	2	2	0	3	0	7	16	
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	
危 険 な 遊 び	男	0	3	0	0	0	0	3	3	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他	男	0	0	0	0	0	0	0	3	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		男	1	24	38	0	3	0	66	131
		女	2	7	20	0	0	0	29	55
男 女 合 計			3	31	58	0	3	0	95	186

法令違反・ ※ぐ犯行為 に関する連 絡	家庭・学校等	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	他 機 関	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0

※ぐ犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為

愛 の 声 か け 運 動	男	81	56	66	21	6	0	230	426
	女	43	23	59	8	4	0	137	316
男 女 合 計			124	79	125	29	10	367	742

【補導記録簿より 7～9月】

- ・長年、補導委員を務めている皆さんが、経験を活かして積極的に声かけを行った。
- ・ゲームセンターで、子供たちは声かけに素直に応じるが、高校生が自分の高校のルールを知らない、中学生はゲームセンター入場禁止という意識がない、などの場面を見かけた。
- ・地域の夏まつりで、PTA補導部と合同で活動し、多くの小中高校生に声かけ。
- ・自転車で、小学生はヘルメットを着用しているが、高校生や大人のヘルメット着用率が低い。
- ・釣り帰りの高校男子に声かけ。故障した自転車の修理を手伝った。
- ・駐輪場や駐車場等の死角になる場所で、よくない雰囲気の見かけをすることはなかった。
- ・日没が早くなってきたので、死角になりやすい場所を気にかけて見回りをしていきたい。



【街頭キャンペーン7/10】

2 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況

	参加人数					回数				状況	
	市職員	地区補導委員	警察	地区補導委員	計	午前	午後	夜間	計	の不良行為等の確認	愛の声かけ
7月	6	7	0	125	138	0	4	15	19	23	140
8月	9	13	0	298	320	2	8	47	57	29	63
9月	14	17	1	241	273	0	12	42	54	43	159
合計	29	37	1	664	731	2	24	104	130	95	362
年間	46	57	2	1314	1419	3	41	219	263	186	742

*参加人数、補導回数の年間合計で、一部、数値の修正を行いましたので、ご了承ください。

補導の目

7月の特別補導について



青少年教育センター 竹内 一彰

県内一斉夏季少年補導・立入調査

静岡県では少年非行の多発期にあたる7月を「青少年の非行・被害防止強調月間」と定め、県内一斉少年補導と立入調査を実施しています。今年は7月4日(火)を基準日として、沼津駅周辺・市内9コースと18の地区に分かれて実施されました。地区補導委員や警察生活安全課、少年警察協助力員、少年指導委員、生涯学習課等、487名の皆様が参加してくださり、充実した活動となりました。

(1) 沼津市内の少年補導の結果

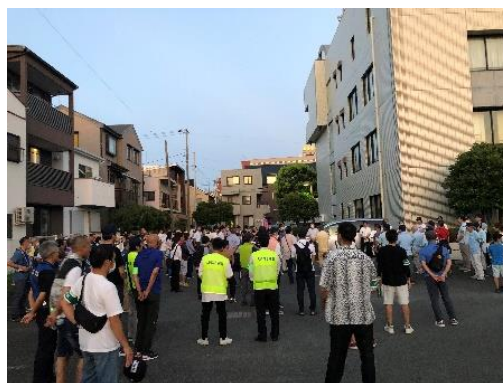
市内では、「不良行為」と呼ばれる「不健全娯楽」「飲酒」等は0件でした。不良行為以外では、高校生を中心に自転車の無灯火・二人乗り等が19件ありました。4月1日から、改正道路交通法の施行により、自転車のヘルメット着用が努力義務となり、「愛の声掛が運動」として対応しています。ヘルメット未着用の高校生が多く、成人の自転車ルールが守られていない状況も見られます。また、人出が多くなり、コロナ禍以前に戻ってきています。また、補導活動の時間帯と青少年の活動時間帯に差があるようで、青少年の活動時間帯を把握して補導活動を実施する必要があるという御意見も寄せられています。

(2) 沼津市内の立入調査の結果

ゲームコーナーやカラオケ、コンビニ等、青少年に関係する業種約185店舗の調査を行いました。新型コロナウイルス感染症が5類移行となったためか、開店・閉店時刻を変更していた店舗が複数見られました。一般書店1業種とDVD1業種が閉業し、コンビニ1業種、質屋・リサイクルショップ3業種が開業しました。

沼津夏まつり特別補導

4年ぶりの通常開催に加え、市政100周年となる第76回沼津夏まつり・狩野川花火大会は、晴天に恵まれ、盛大に開催されました。沼津夏まつり特別補導には、地区補導委員をはじめ、警察関係、教育委員会、小中高教員、保護者、自治会関係等、268名の皆様に御協力いただき、笑顔一杯の子供たちの姿を見守ることができました。



【夏まつり補導出発式 7/29】

一斉補導・立入調査、および沼津夏まつり特別補導への御協力、誠にありがとうございました。